

## ■フッ化物洗口は効果があるの？

大崎町教育委員会が、保護者の理解と大崎町歯科医師会の協力をいただき、フッ化物洗口（週1回）を始めて3年が経ちました。

これは、むし歯予防対策として、子供たちの歯を強くするために始めたものです。そこで今回は、その成果について報告いたします。

毎年、鹿児島県教育委員会が行っている「学校保健活動状況調査」を基に集計を行い、以下のとおりの結果が見られました。

むし歯のない人の割合の変化

	小学校6年	中学校1年
H29	23.1%	34.4%
H31	29.1%	39.4%
R3	38.7%	52.6%

4年で  
15.6% 増加

4年で  
18.2% 増加

フッ化物洗口の歩み

H 30年9月 野方小開始

H 31年4月 全小学校開始

R 2年6月 大崎中開始

※町内では、4歳児～中学3年生までが一貫して、フッ化物洗口を行っています。

フッ化物洗口の実施開始に合わせて、むし歯のない人の割合が増加しています。ただし、フッ化物洗口だけでむし歯を防げるわけではありません。以下の点において、家庭でも協力をお願いします。

- ・食後の歯磨き（仕上げ磨き）の徹底
- ・食生活（よく噛む、糖の摂取など）の改善



【野方小におけるフッ化物洗口の様子】

## まぶの窓おしえの庭

### 「自分を支えてくれるものとの出会い」

No.68 大隅中学校 教諭 肝付 みどり

(元大崎中学校 教諭)

私は7歳よりピアノを習い始めた。とは言っても55年も前のことで、当時はオルガンが主流であった。バイエルを練習していると次第にオルガンの鍵盤では足りなくなってくる。その時、父が私に言った言葉が、「真剣に続ける意思があるのなら、ピアノを買ってやる。」だった。我が家は決して余裕のある家庭ではなかったが、ピアノを買ってもらったことで、音楽の道への一歩が開いた。人には必ず得手、不得手がある。私の場合は不得手は絵を描くことで、絵を習いに行ったこともあったが、全くダメだった。だが、ピアノだけは少しずつ上達した。進路選択をする時も迷うことなく、音楽科のある大学への入学を希望した。

得意な面をしっかり伸ばしていくことが、人生をより豊かにしてくれるように思える。人生は一度きり、自分の、我が子の良さを見つけ、それを伸ばしていく。それでは、どうやって自分の良さ(才能)を見つけるか。私は、とにかく何でも挑戦して見極めることが大切だと思う。与えられた課題を、嫌いだからしない、難しいから自分にはできない、興味がないからしないなどの理由で逃げてしまうと、結局は自分にはどんな良さがあるのか、それに気づくチャンスを見逃してしまうのではないだろうか……。40年間、教員をして感じるのは、とにかく何でもやってみる生徒たちは、とてもバランスのよい、そして、考えのぶれない大人へと成長していったように思える。私は今、音楽に出会い、音楽に癒され、音楽で繋がったこれまでの人生と、それを最初に支えてくれた亡父に感謝している。

何か一つでもいい、自分の人生を豊かにし、情熱を注げるものを見つけてほしい。それが人生を支えるものとなるのだから。

